



新光商事株式会社
Shinko Shoji Co., Ltd.

2016年3月期 第2四半期決算説明会

- **第2四半期決算の概要**
- **今後の施策**
- **通期の見通し**

2015年11月6日
代表取締役社長 小川 達哉

このプレゼンテーション資料で述べられている当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいることから、実際の業績は大きく異なる結果となることがあります。

それらのリスクや不確定要素の主なものは、以下のとおりです。

- ① 主要市場（日本、アジア等）の経済状況、消費動向
- ② エレクトロニクス産業の業界動向、技術トレンド等の変化
- ③ 当社の主要製品市場における需給の急激な変動
- ④ ドル等外国通貨の対円為替相場の大幅な変動



第2四半期決算短信の概要

2016年3月期 第2四半期決算のポイント

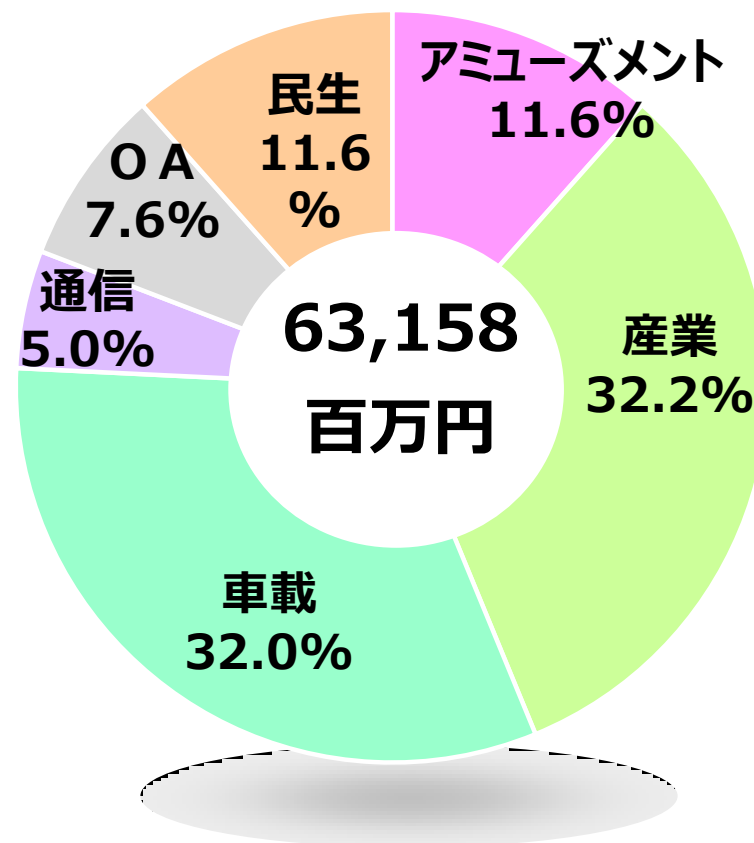
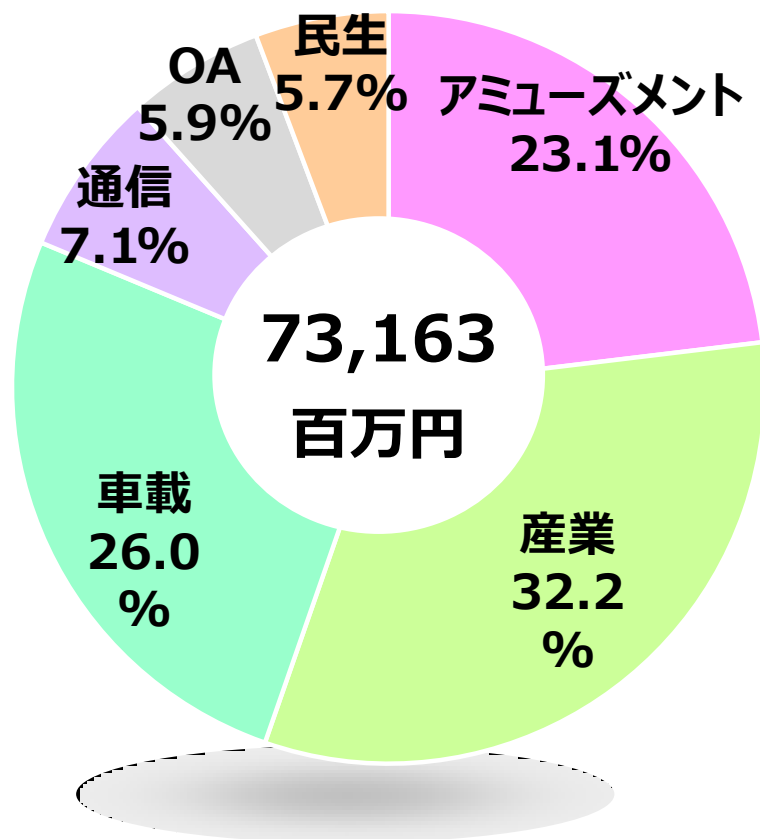
遊戯機器業界が予想以上に不況であり、大きく売上および利益が減少し、減収減益となる。

- 車載関連は、北米およびASEANを中心に堅調に推移し売上増。
- 娯楽機器関連は、リユース・リサイクルが進み、業界全体の販売台数の減少を受けて前年比で大幅減。
- 16年3月期の通期業績予想を修正。
中国・新興国による設備投資鈍化の影響を受け、通信関連および産業機器関連は不透明な状況が続く。
娯楽機器業界の立直りは時間を要し、売上額の大幅な減少が続く予想。

分野別売上構成

【2015年3月期第2四半期】

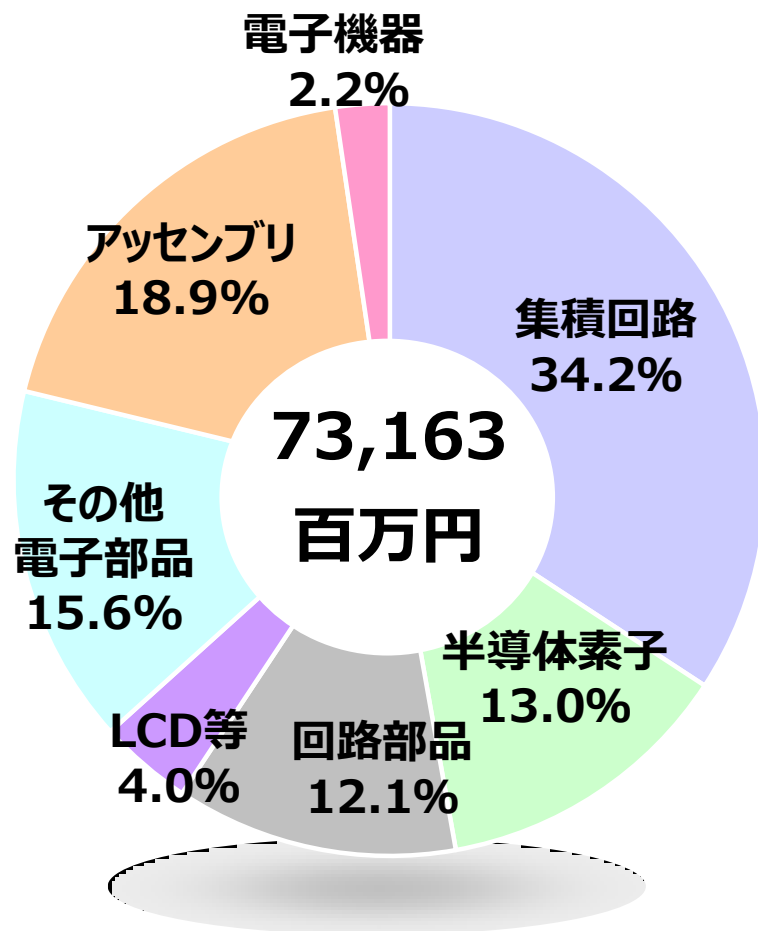
【2016年3月期第2四半期】



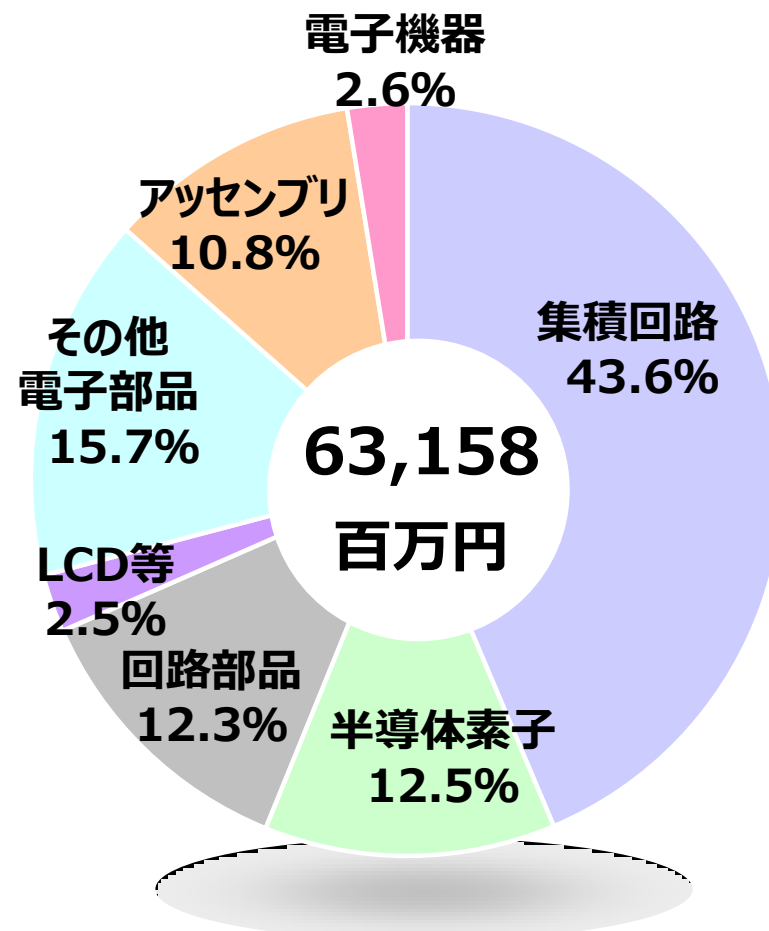
(注) 決算短信のセグメントは電子部品事業、アッセンブリ事業、
その他事業の三種類（後述）

品種別売上高構成

【2015年3月期第2四半期】



【2016年3月期第2四半期】

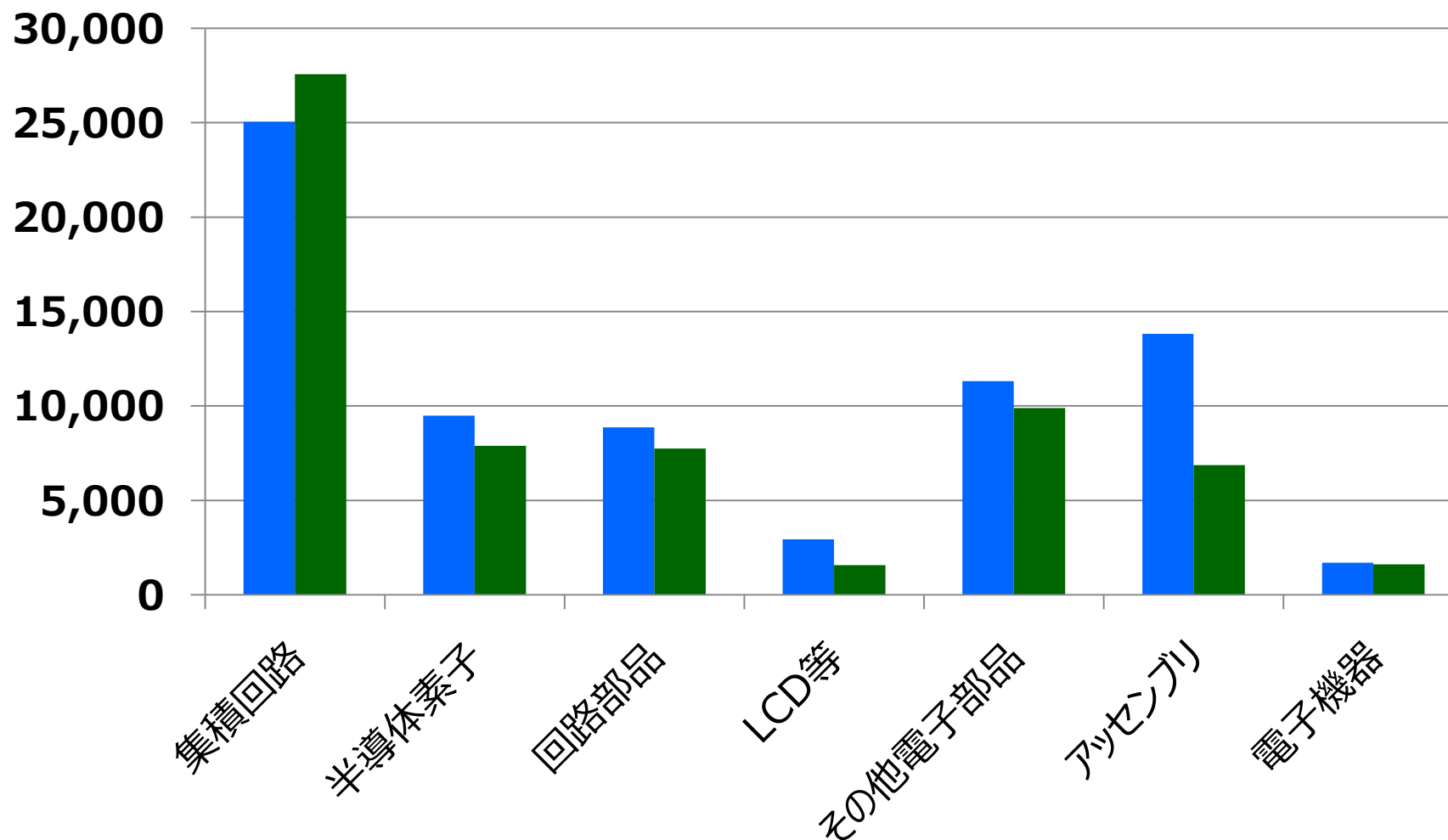


品種別売上高 前年同期比較

(百万円)

■ 15年3月期第2四半期

■ 16年3月期第2四半期

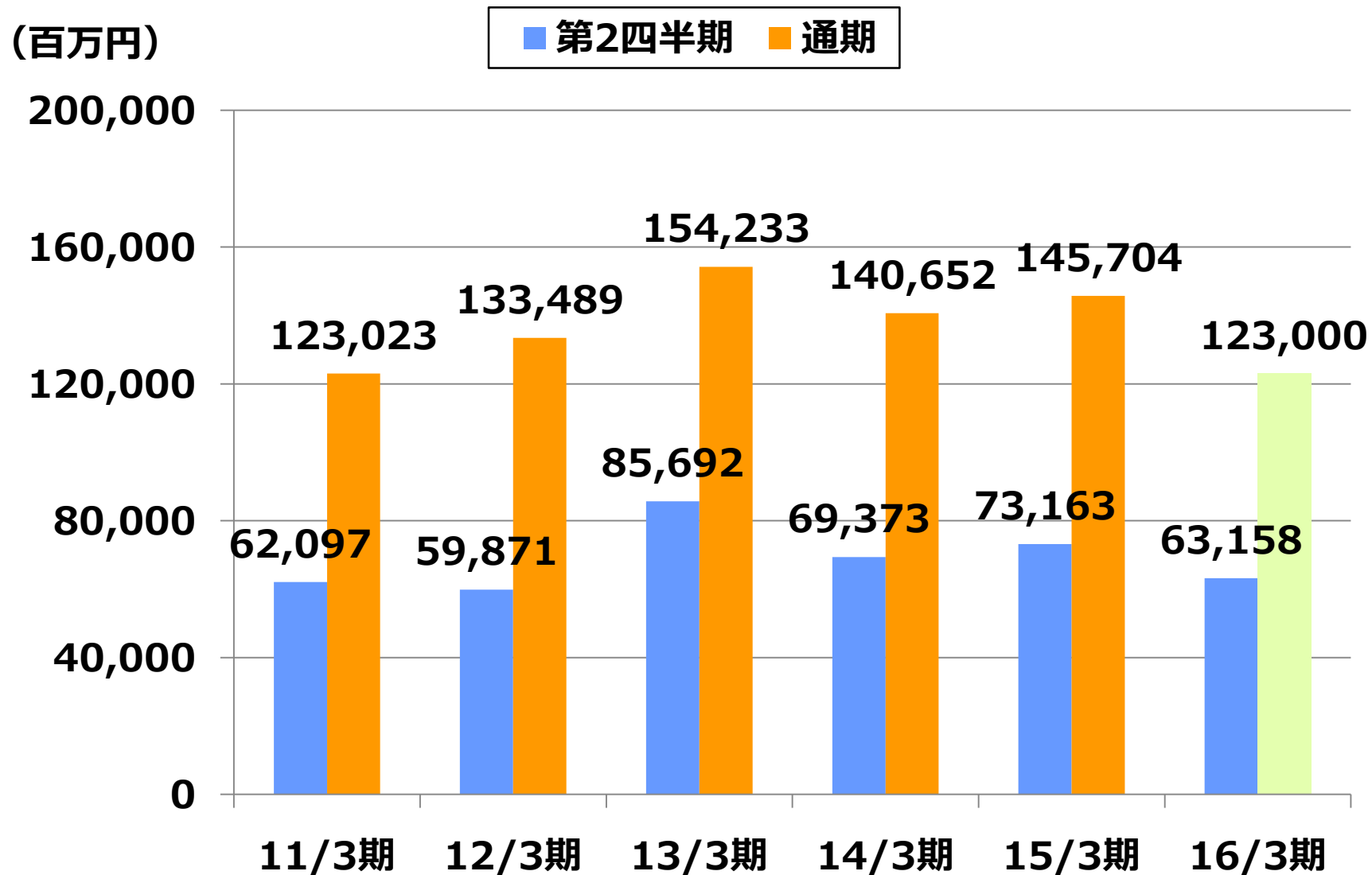


第2四半期決算の概要

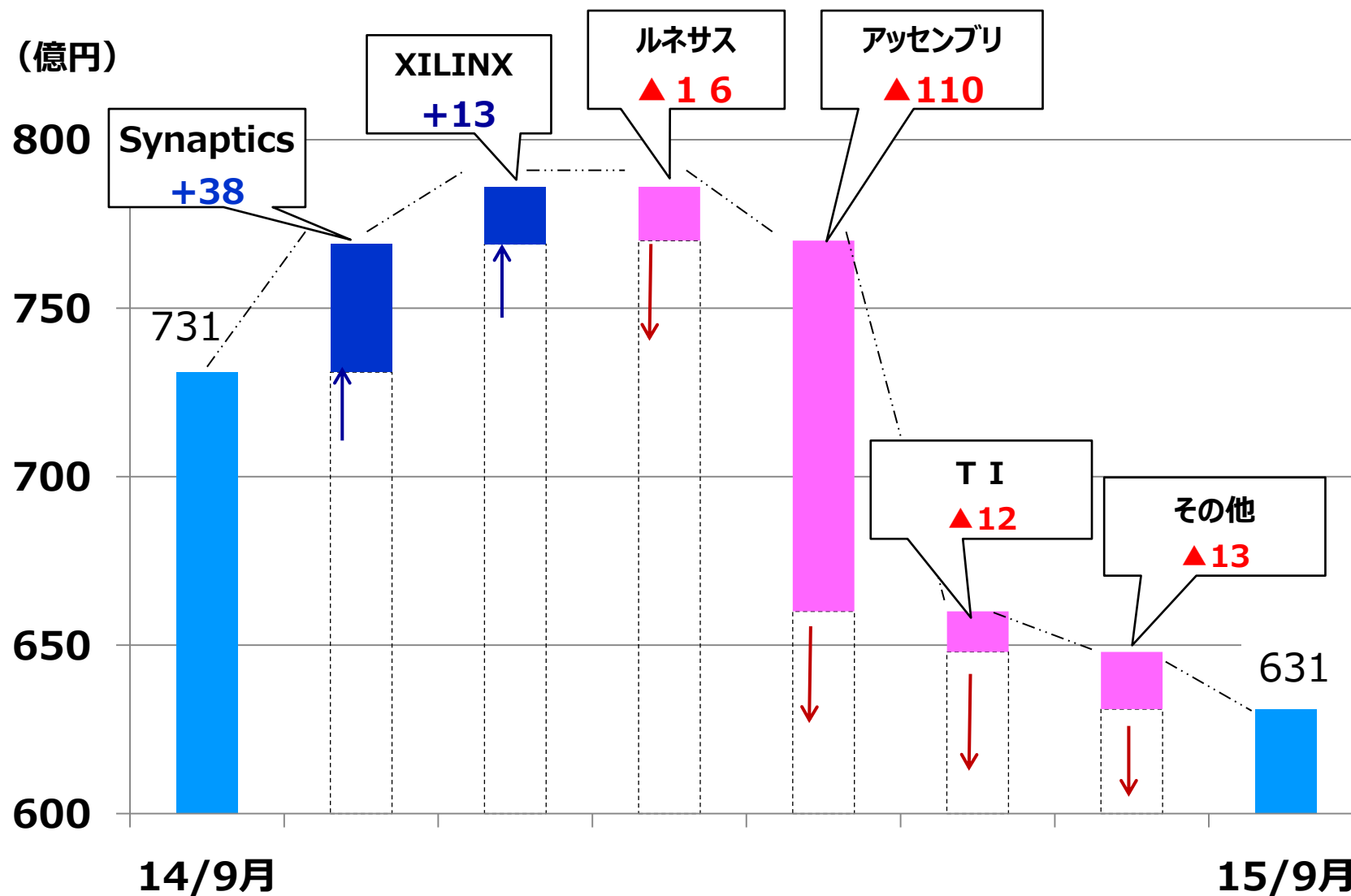
(百万円)

	2015年3月期 第2四半期 実績	2016年3月期 第2四半期 期初予想	2016年3月期 第2四半期 実績	増減額 (前年同期比)	増減額 (期初予想比)
売上高	73,163	68,000	63,158	△10,005	△4,842
売上総利益	6,264	-	5,050	△1,214	-
販売管理費	3,769	-	3,843	74	-
営業利益	2,494	1,400	1,207	△1,287	△193
経常利益	2,387	1,400	1,195	△1,192	△205
第2四半期純利益	1,470	800	772	△698	△28
1株当たり 四半期純利益	62円00銭	33円73銭	32円57銭	△29円43銭	△1円16銭

売上高推移

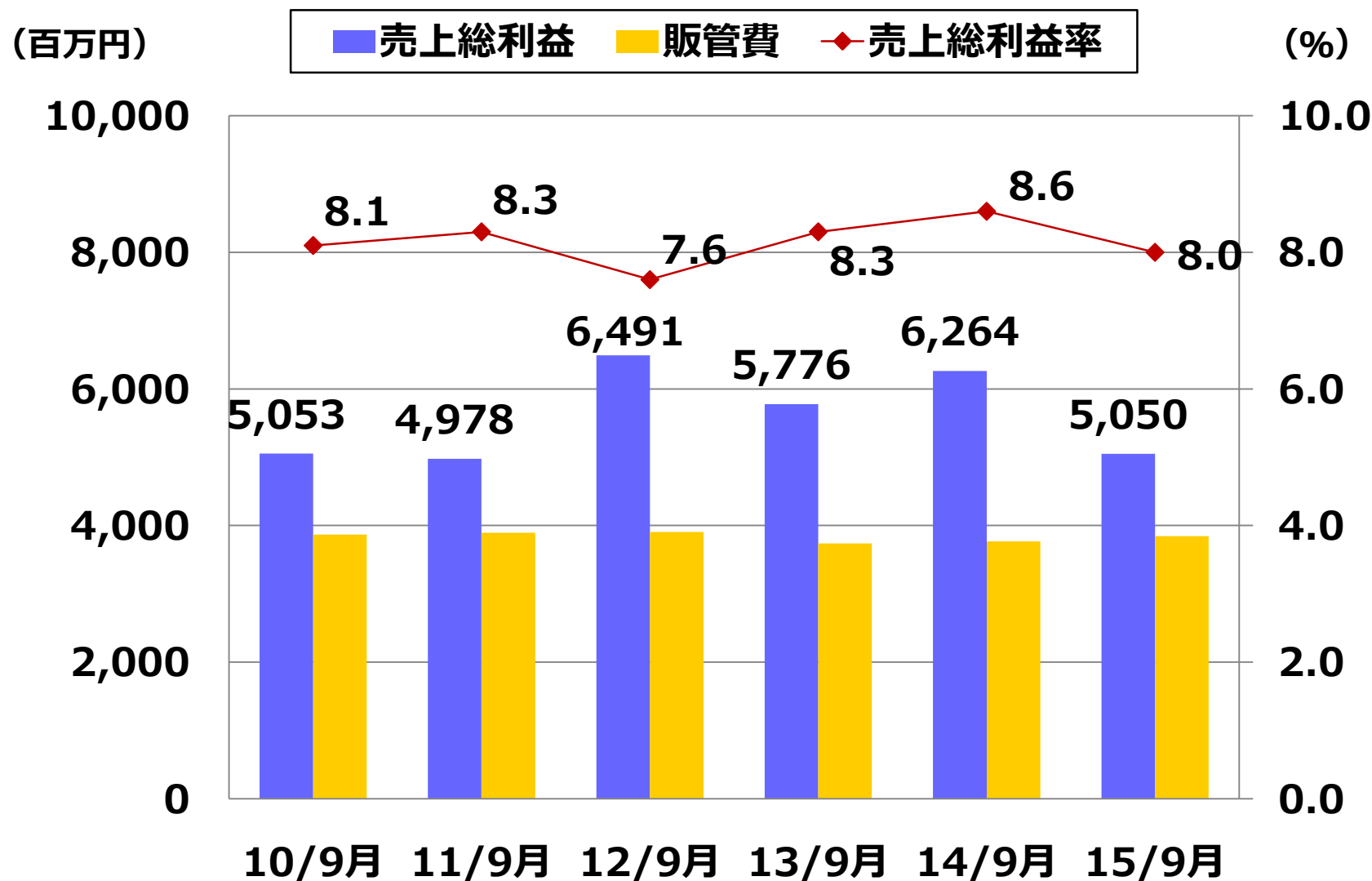


前年同期比 売上増減要因分析



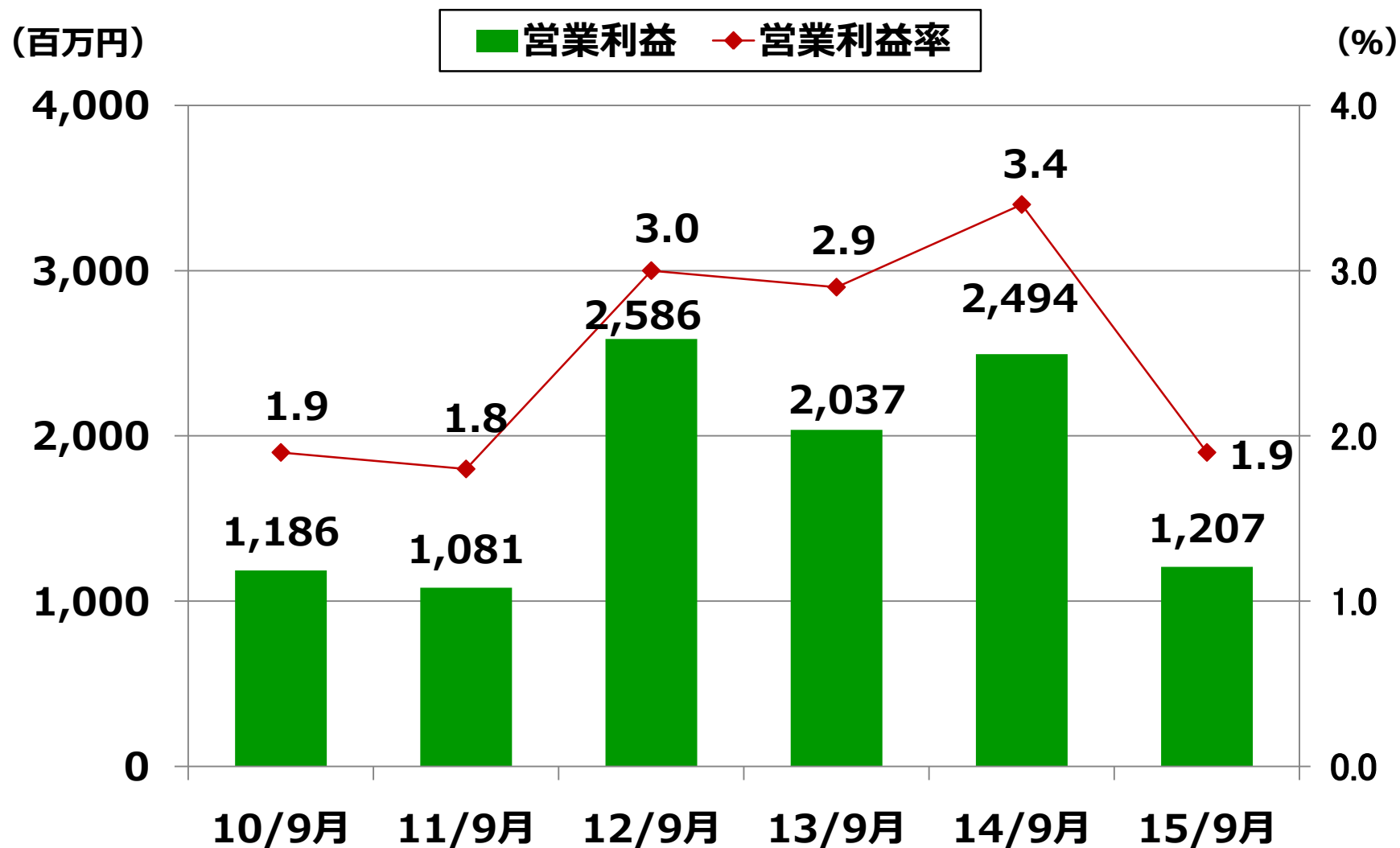
売上総利益 / 売上総利益率 / 販管費 推移

【第2四半期実績】



営業利益 / 営業利益率 推移

【第2四半期実績】



営業外損益・特別損益等の主な増減要因

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減額
営業利益	2,494	1,207	△1,287
営業外損益	△107	△12	95
経常利益	2,387	1,195	△1,192
特別利益	0	0	0
特別損失	51	0	△51
内、投資有価証券評価損	44	0	△44
内、固定資産除売却損	5	0	△5
税金等調整前四半期純利益	2,336	1,194	△1,142
法人税等	855	419	△436
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	2	△8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,470	772	△698

要約貸借対照表①

(百万円)

	2015年3月期 期末	2016年3月期 第2四半期	増減額
資産合計	85,461	80,284	△5,177
流動資産	78,076	73,447	△4,629
内、現金及び預金	18,984	25,376	6,392
受取手形及び売掛金	28,429	25,884	△2,545
有価証券	7,000	100	△6,900
たな卸資産	14,201	13,125	△1,076
未収入金	8,119	7,936	△183
固定資産	7,385	6,836	△549
内、投資有価証券	3,397	2,854	△543

要約貸借対照表②

	2015年3月期 期末	2016年3月期 第2四半期	増減額 (百万円)
負債合計	27,936	22,917	△5,019
流動負債	22,741	20,323	△2,418
内、支払手形及び買掛金	19,467	14,827	△4,640
短期借入金	1,544	1,487	△57
1年内返済予定の長期借入金	—	2,500	2,500
固定負債	5,195	2,594	△2,601
長期借入金	3,100	600	△2,500
純資産合計	57,524	57,366	△158
内、資本金及び資本剰余金	19,101	19,234	133
利益剰余金	35,938	36,109	171
自己資本比率	66.7%	70.8%	-

キャッシュ・フロー

(百万円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	対前年比
現金及び現金同等物の期首残高	21,931	25,143	3,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,070	235	△1,835
投資活動によるキャッシュ・フロー	△727	△291	436
財務活動によるキャッシュ・フロー	△531	△680	△149
現金及び現金同等物の期末残高	23,015	24,294	1,279



今後の施策



今後の施策

- 1 **ビジネス領域**
- 2 **ルネサスエレクトロニクスとのビジネスについて**
- 3 **新規仕入先の開拓について**
- 4 **海外ビジネスの状況について**
- 5 **車載系・産業系ビジネスへの取組みについて**
- 6 **娯楽機器ビジネスの現状と見通し**
- 7 **新規ビジネスについて**

1. ビジネス領域

デバイス・ソリューション

★半導体

- ルネサスエレクトロニクス(株)
- ザイリンクス(株)
- セイコーインスツル(株)
- 日本電気(株)
- 海外半導体メーカー
(Synaptics、QuickLogic、EverLight、KEC、Fidelix、PHISON等)

★電子部品

- TDK(株)・TDKラムダ(株)
- 日通エレクトロニクス(株)
- NECトーキン(株)
- 京セラ(株)・京セラディスプレイ(株)
- 日本精機(株)
- (株)フジクラ/第一電子工業(株)
- 日本モレックス(合)
- ・回路部品・・・コンデンサ/水晶/コイル・・・
- ・表示デバイス・・・TFT/タッチパネル・・・
- ・機構部品・・・コネクタ/ワイヤー・ハーネス/プリント基板・・・
- ・モジュール・・・電源・通信・カメラ・・・
- ・放熱、ノイズ、防水、衝撃吸収シートなど
- ・組込ボード・・・アットマークテクノ
- ・電源、電池・・・高砂製作所・パイコー・日立マクセル

★樹脂整形部品・板金加工

新光商事(株)、NT販売(株)

受託開発・技術支援

- ASIC/CPLD 受託開発
- 技術者派遣
- IP開発
- 組込みソフトウェア受託開発(DSP・マイコン)
- アプリケーションソフトウェア受託開発
- ハード・ソフト・システム開発

新光商事LSIデザインセンター(株)

グローバルサポート

- 海外生産移管サポート
香港・上海・深セン
シンガポール・タイ
マレーシア・北米
スペイン 他
(世界9カ国21拠点)
- IPO事業の展開
- 海外EMS事業の展開

海外現地法人

デバイス技術サポート

お客様

システムモジュール受託

IPO、部品実装

協業ビジネス提案

EMSソリューション

- KITTINGサービス
- プリント基板実装・組立
- 受託生産協業パートナー
(国内外FAB 海外自社工場)

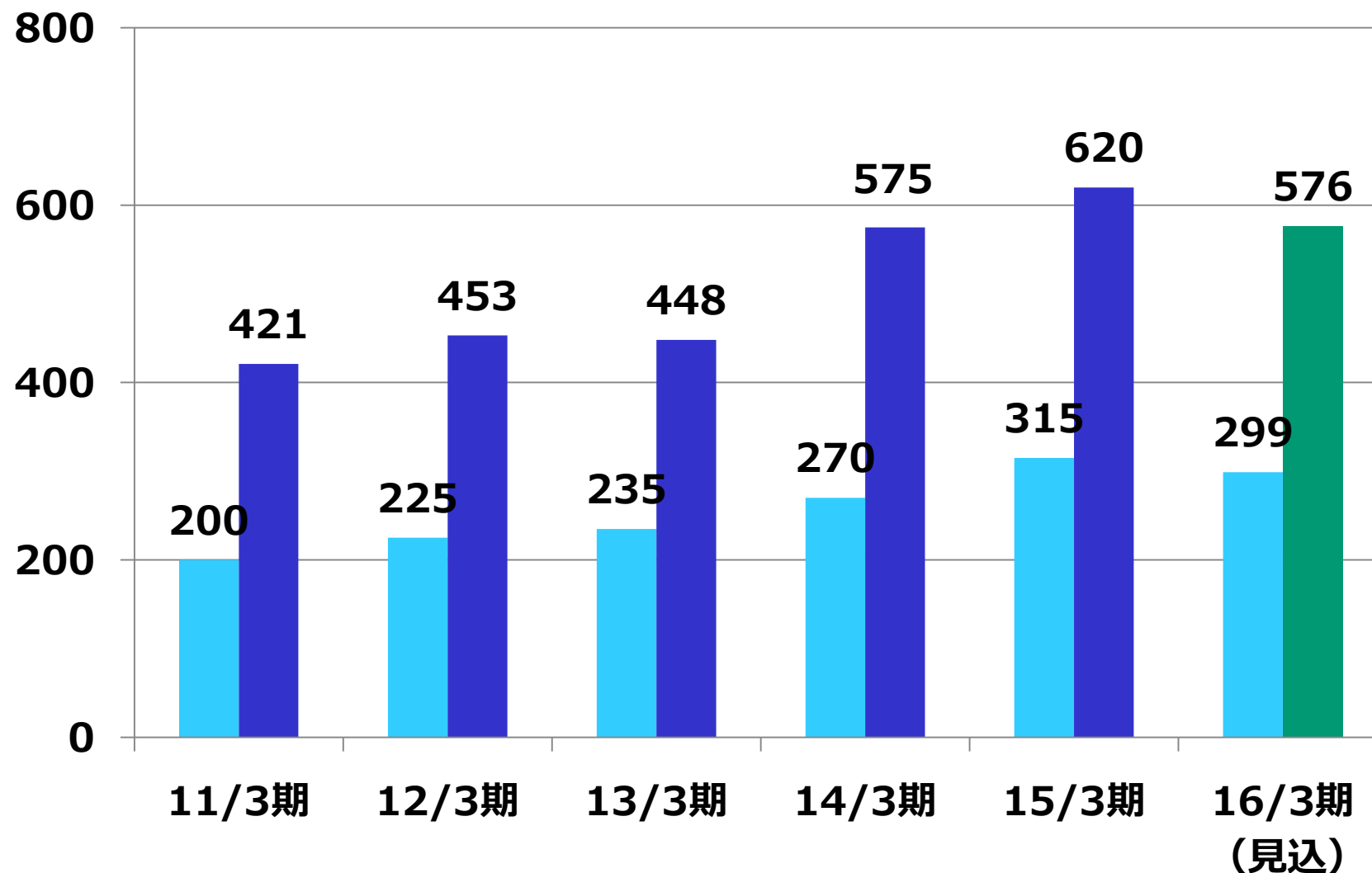
新光商事(株)、ノバックスジャパン(株)

2.ルネサスエレクトロニクスとのビジネスについて①

【ルネサス製品 売上推移】

(億円)

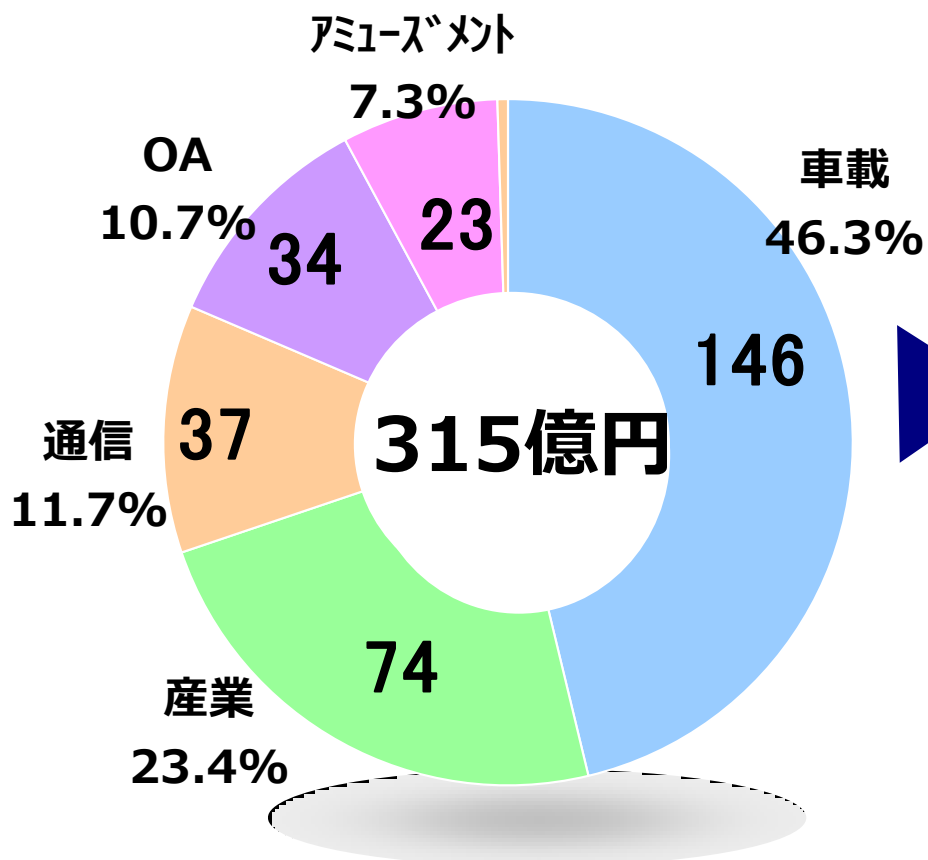
■ 第2四半期 ■ 通期



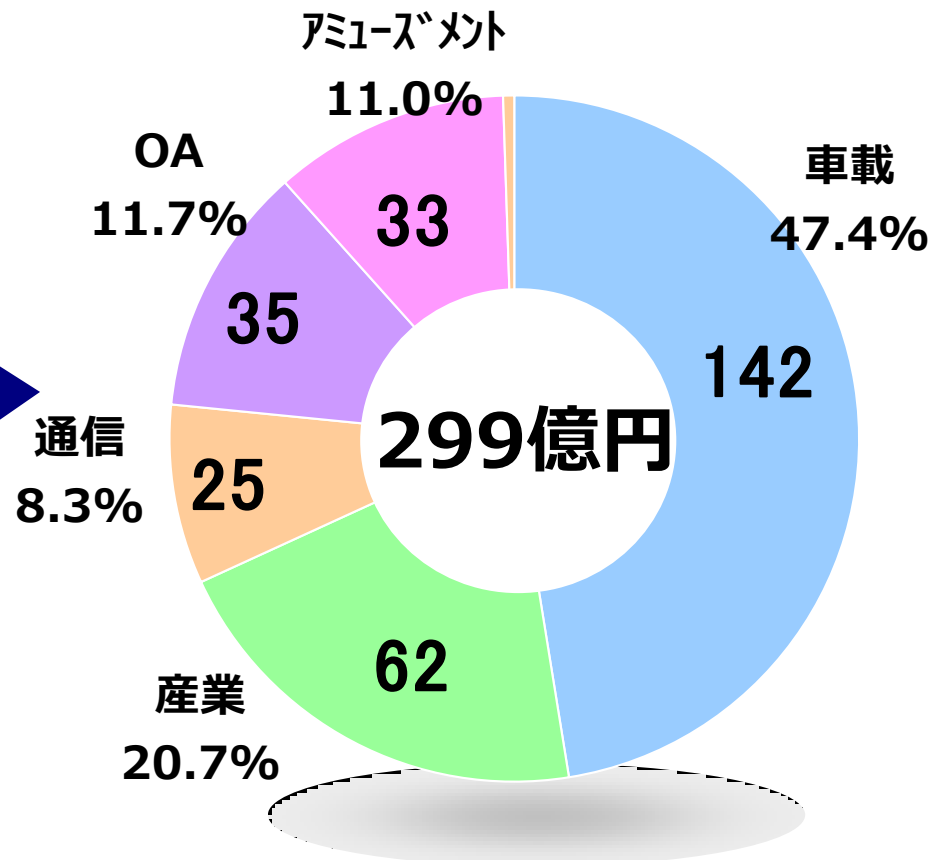
2. ルネサスエレクトロニクスとのビジネスについて②

【分野別売上 前年度比較】

【15年3月期第2四半期実績】



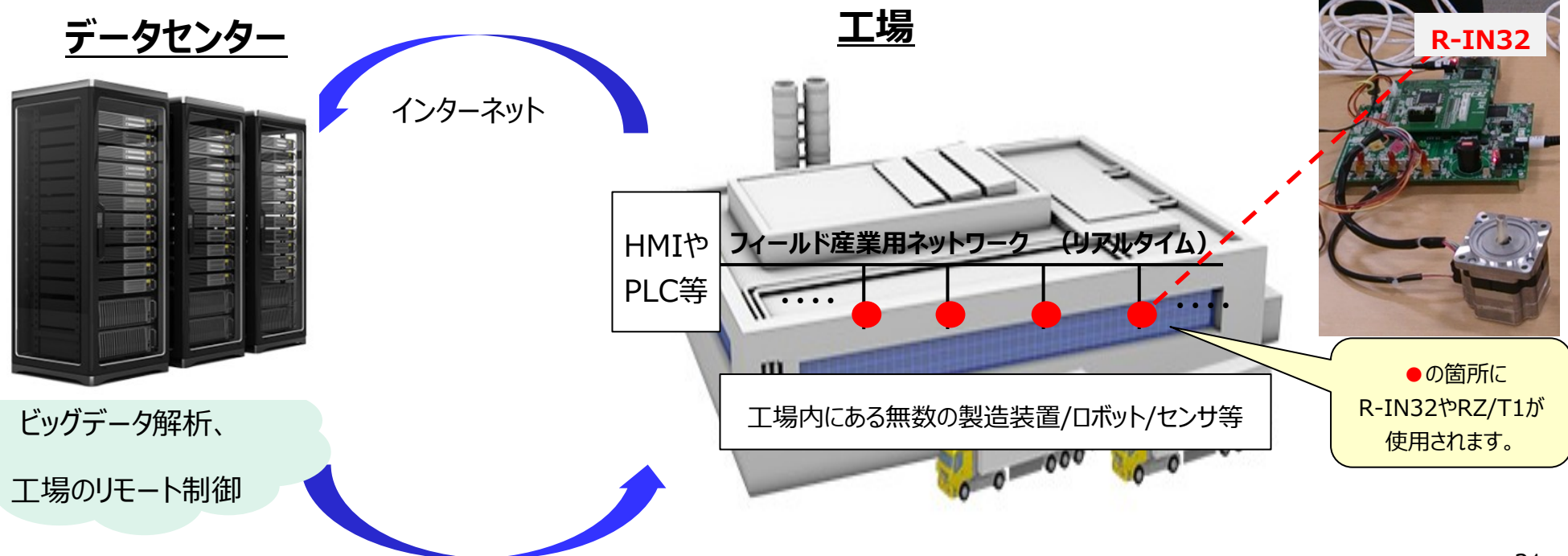
【16年3月期第2四半期実績】



2. ルネサスエレクトロニクスとのビジネスについて③

【インダストリ4.0】

- ・インターネットを介して工場内外のモノとモノが連携（IoT）する。
ファクトリー・オートメーションが更に普及した結果、オープンネットワーク機器の需要が増加。
- ・ルネサスエレクトロニクス R-IN32、RZ-T1シリーズで提案。
国内大手産業機器メーカー等数社に採用し、中国メーカーも採用方向



2. ルネサスエレクトロニクスとのビジネスについて④

Renesas Synergy™ プラットフォーム

開発期間短縮による、トータルコスト低減を実現するRenesas Synergy™の3つの価値

1. Accelerate Your Time to Market システムの早期市場投入を実現
2. Reduce Your Total Cost of Ownership
システムの開発・保守に伴うトータルコストを低減
3. Lower the Barriers to Entry システム開発着手の容易さを実現

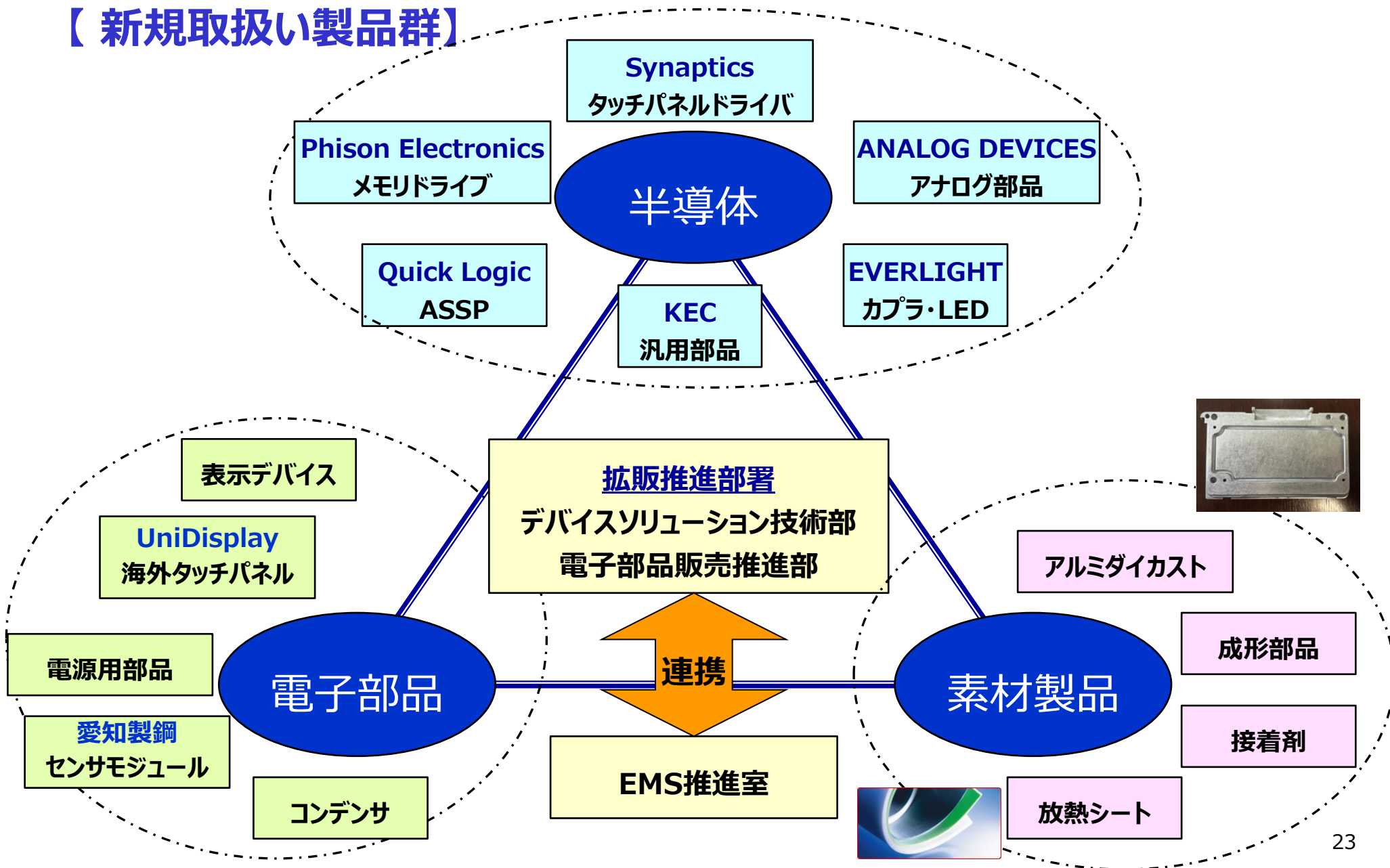
Renesas Synergy™ プラットフォームの構成要素



- ・効率的なハードウェア
- ・完全なソフトウェアフレームワーク
- ・アドオン・ソフトウェアによる機能拡張性
- ・安定した共通ソフトウェアAPI
- ・直感的な開発を可能にする開発環境
- ・安価で開発を支援するキットの数々
- ・統合され、セキュアなクラウド接続環境

3.新規仕入先の開拓について①

【新規取扱い製品群】



3.新規仕入先の開拓について②

QuickLogic社製品のビジネス展開について 【IoTセンシングソリューション】

- ・IoT社会に向けて今後のセンサー市場は規模の拡大する
- ・成長市場に対するビジネスチャンスに対して、訴求力のあるソリューションを提案する

モバイル/ウェアラブル/IoT向け 超低消費電力センサープロセッシング トータルソリューション

EOS™ 世界最先端マルチコア センサープロセッシング SoC

機能	特徴
超低消費電力	75μWの稼働時消費電力
常時オン (Always-on)	常時検知 (Always-aware)
2.1mm X 2.5mm	

SenseMe™ センサアルゴリズムスイート

- ユーザー アクティビティ (活動量計)
- ユーザー トランスポート (乗り物)
- ユーザー ジェスチャー
- デバイス ロケーション

ArcticLink 3 S2 低消費電力 プログラマブルセンサーハブ

- ① スマートフォン、ウェアラブル向けに設計
- ② 75μWの稼働時消費電力
- ③ 常時オン (Always-on)、常時検知 (Always-aware)
- ④ 2.1mm X 2.5mm



< センサーモジュール構成 >

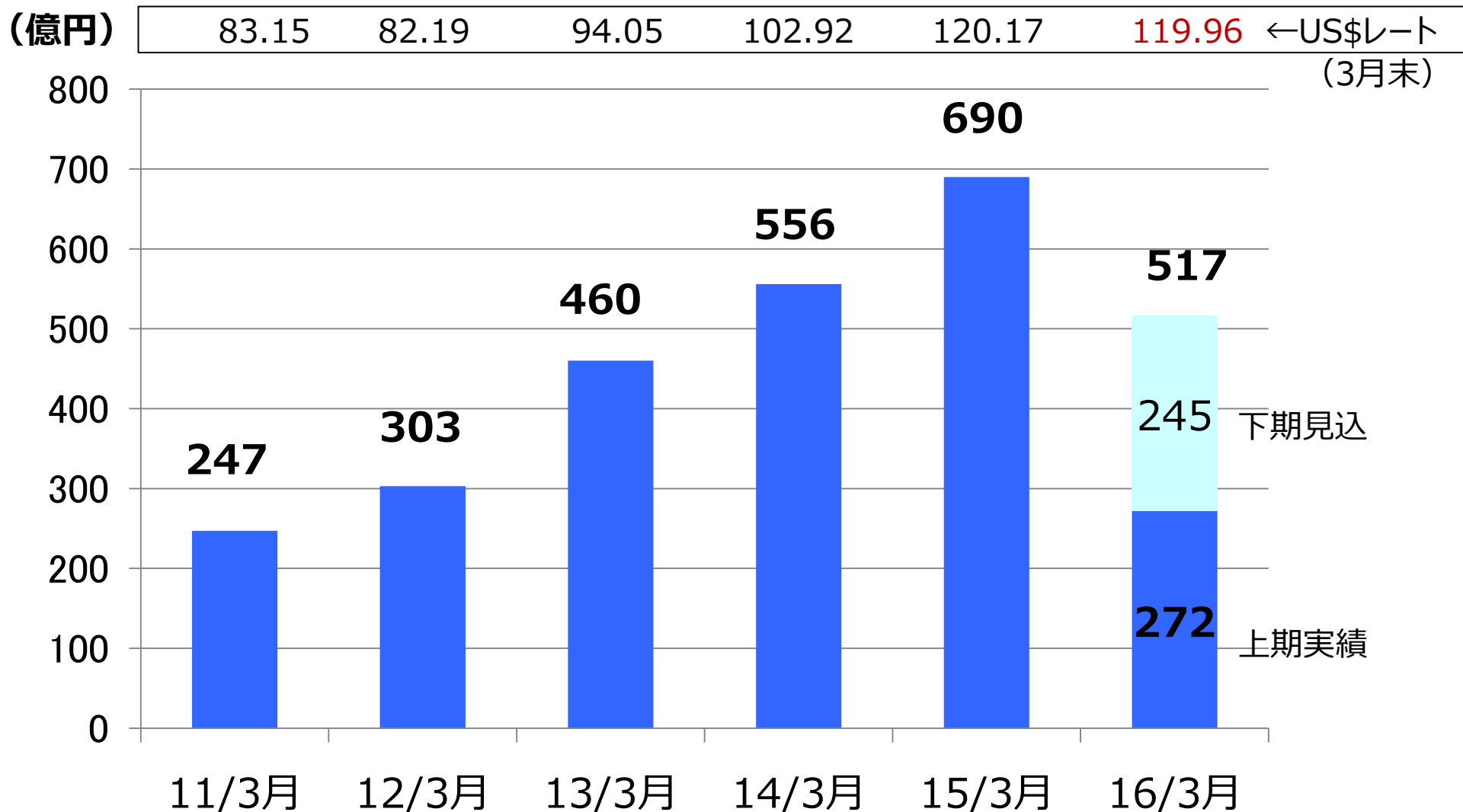


【QuickLogic提案】

- ① 超低消費電力デバイス (他社比1/4～1/5)
- ② マルチプロセッシング技術による高性能化
- ③ 自社開発独自アルゴリズムと合わせた提案

4.海外ビジネスの状況について①

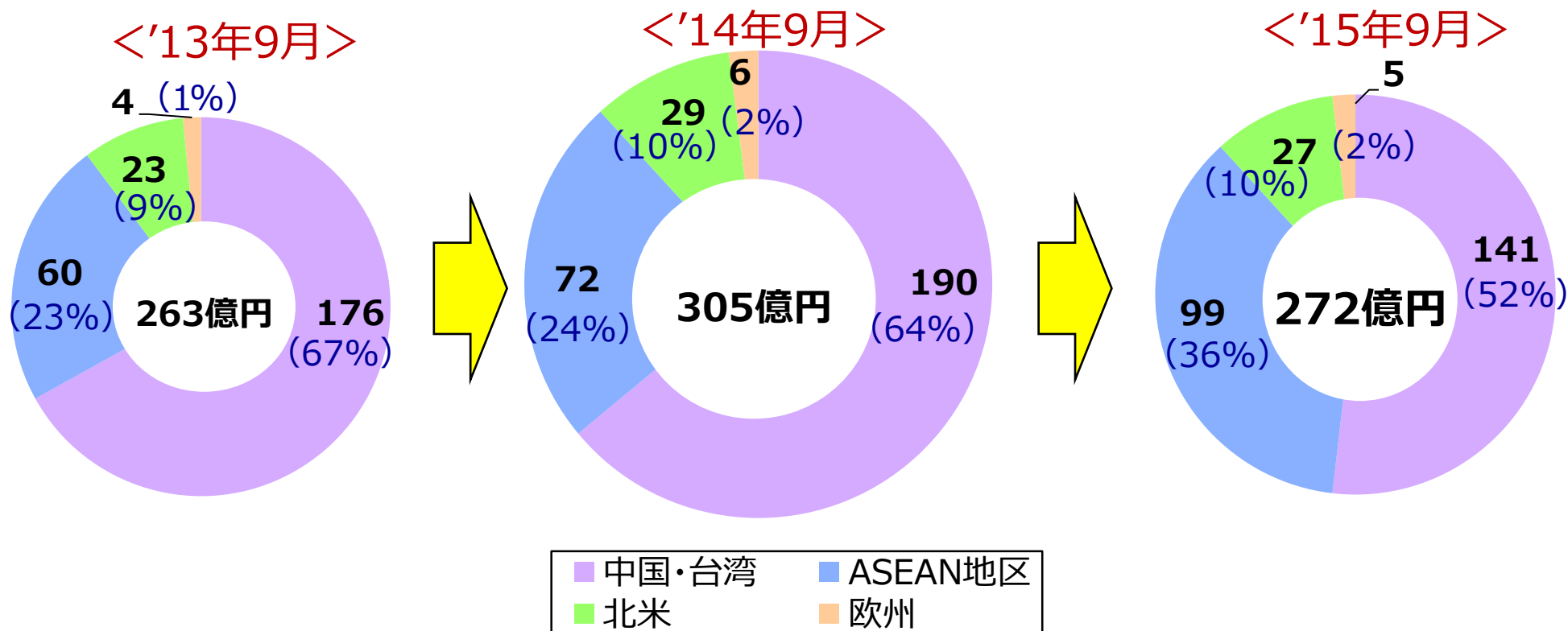
【海外現地法人 売上推移 消去前】



4. 海外ビジネスの状況について②

【第2四半期 地域別 売上推移】

(単位：億円)



- ◆顧客の生産海外移管加速に伴い、海外ビジネスの増。
中華圏は減少、ASEAN地区における車載顧客向け売上は増加。

4.海外ビジネスの状況について③

【中国車載顧客拡大活動】

- ・上海モータショー（4/20-29）に当社BLDC開発ソリューションを出展
武漢光庭社ブース内の一角に設置された（注）CECOV会員のコーナーに
Novalux上海として協賛展示を実施し、約10社の顧客開拓を実現

武漢光庭 ブース



自動運転デモ車とデモムービー展示メータ類の
製品展示を実施

Novalux上海展示ブース（CECOVコーナー）



展示形態

注）CECOV：武漢光谷カーエレクトロニクス・イノベーションコンソーシアム

4. 海外ビジネスの状況について④

【北米大陸顧客拡大活動】

・カルフォルニアDevCon2015 (10/12-13)に当社BLDC開発ソリューションを出展

ルネサスエレクトロニクスのブースの一角に設置されたコーナーにて、RL78/F1xのソリューションとして展示を実施し、北米のみならずブラジルからの引合いを発掘

DevCon2015会場



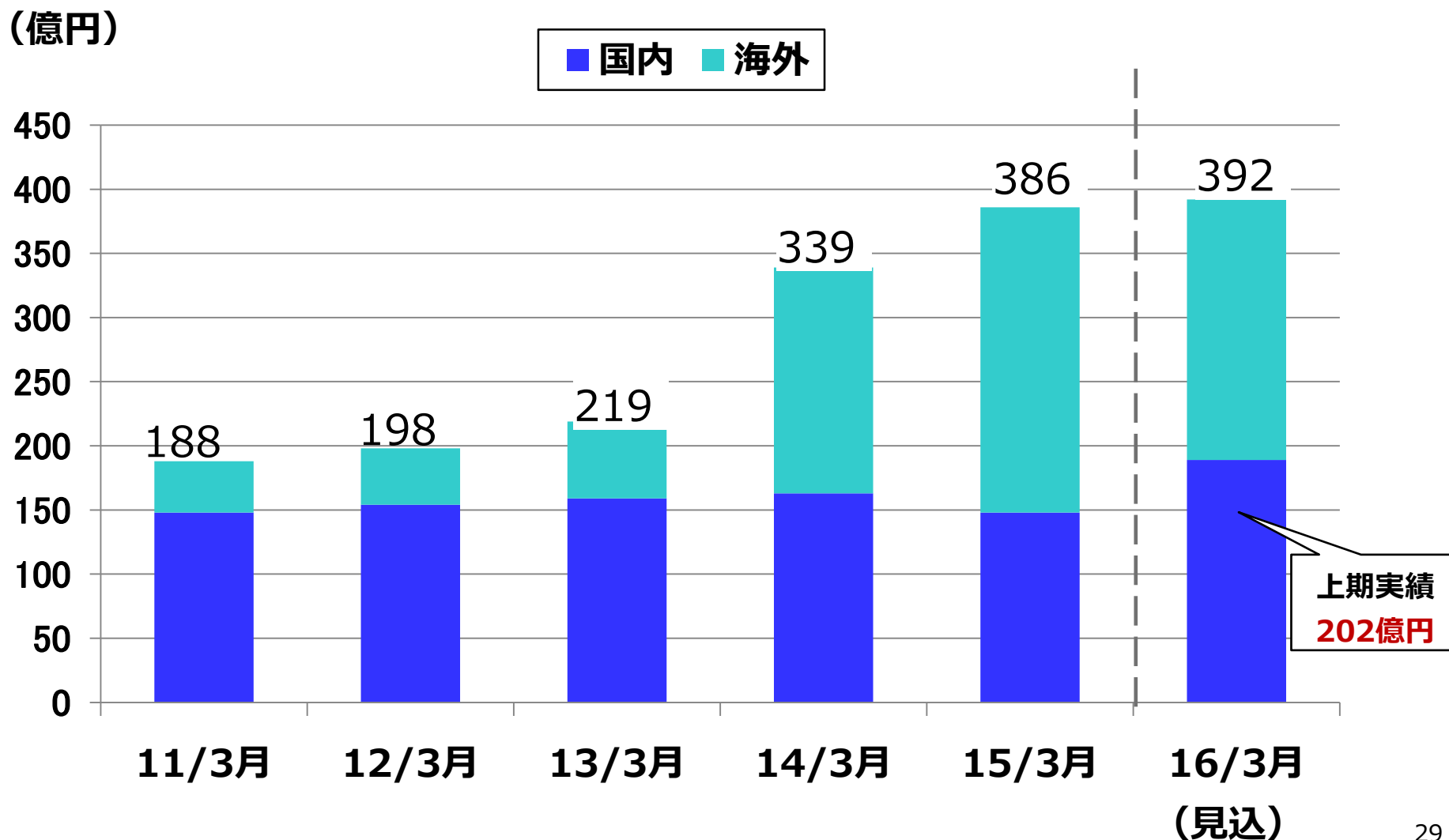
新光展示ブース (RL78/Fシリーズ)



5.車載・産業関連ビジネスへの取組みについて①

【車載分野 売上推移】

目標：450億円



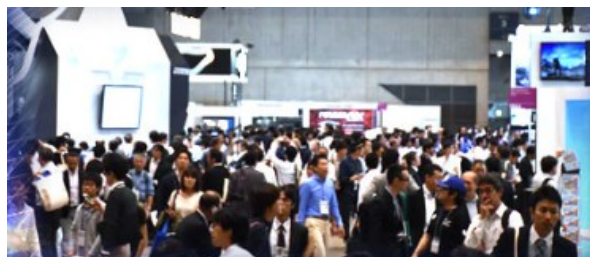
5.車載・産業関連ビジネスへの取組みについて④

【CEATEC2015出展】

CEATEC2015 (10/7-10)に新光商事として初出展

産業分野のソリューションとしてIoTソリューションを展示

自動車分野のソリューションとして当社BLDC開発ソリューションを出展



CEATEC2015会場



新光商事ブース (全体)



産業展示 (IoTソリューション)



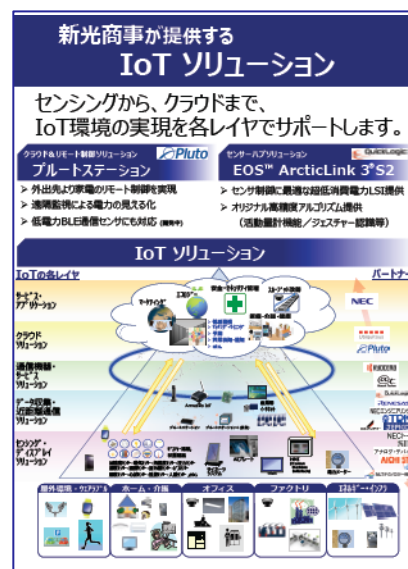
自動車展示 (モータソリューション)

会期中

・759名来場を頂き、

305名の方にアンケート結果を頂く。

⇒アンケート結果から、資料要望／訪問希望を
頂いた方から、訪問を計画中、商談化を進める

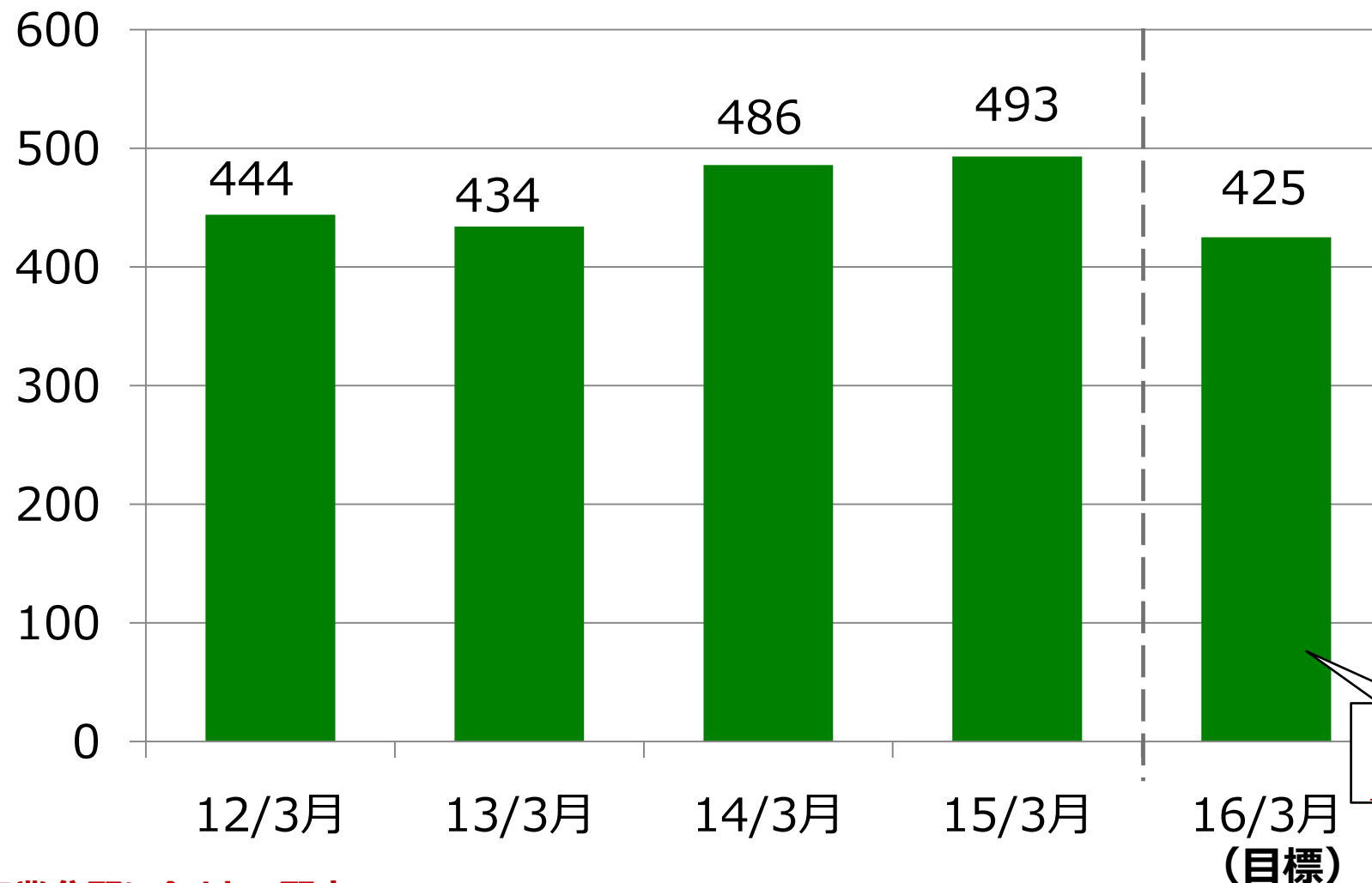


5.車載・産業関連ビジネスへの取組みについて⑤

【産業分野 売上推移】

目標：500億円

(億円)



上期実績
203億円

※産業分野に含まれる顧客

工作機械、半導体製造装置、医療機器、スマートメーター等

5.車載・産業関連ビジネスへの取組みについて⑥

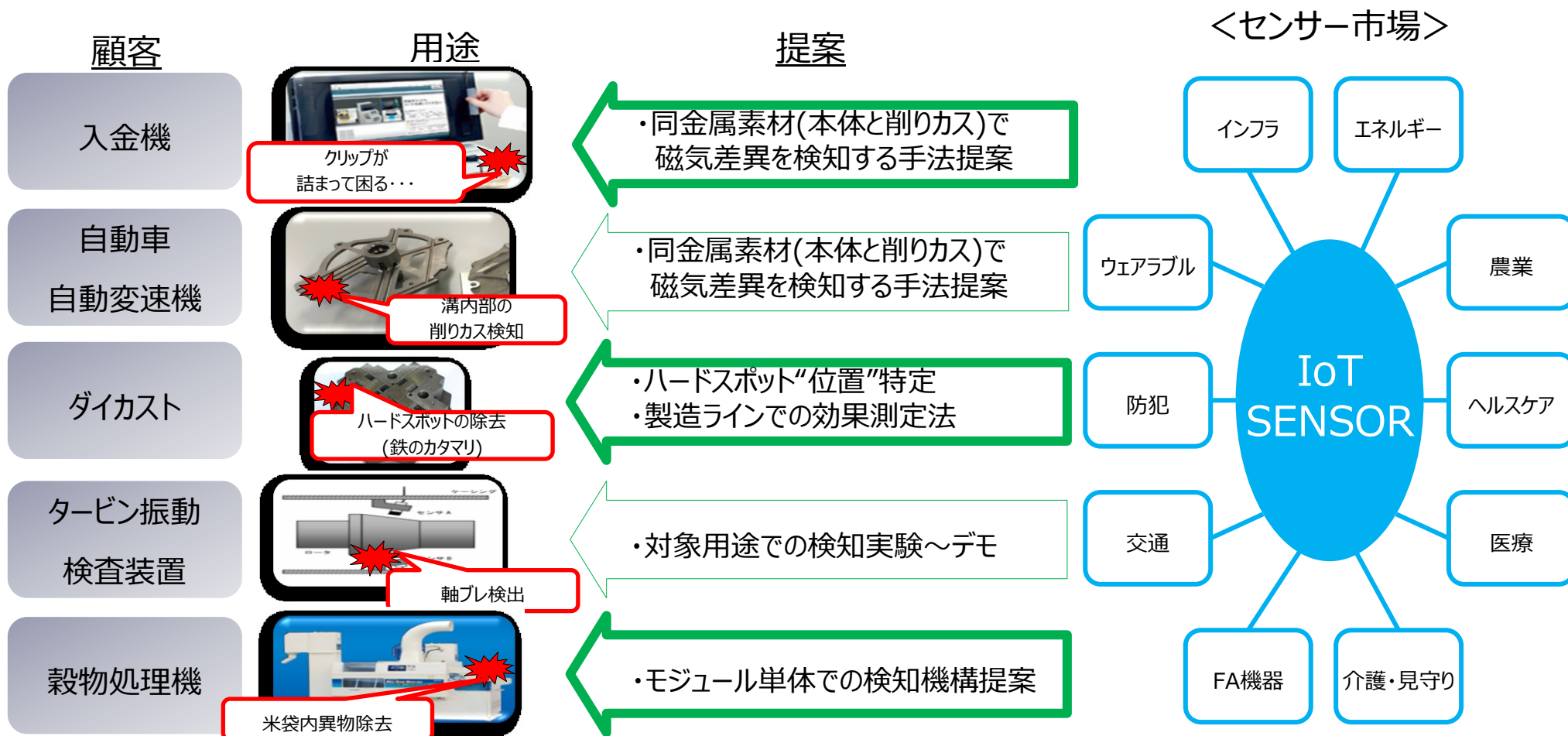
【UniDisplay】 タッチパネル・ガラス



狙い：特徴のある新商材で新たな顧客層の獲得

5.車載・産業関連ビジネスへの取組みについて⑦

【愛知製鋼】 高感度磁気センサー

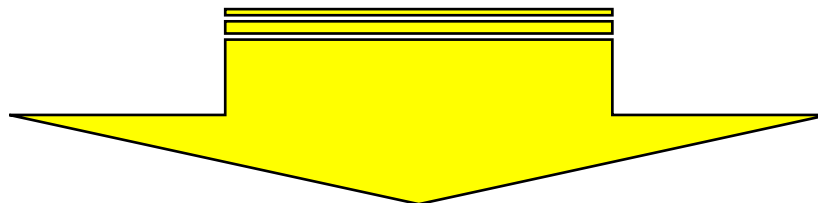


高感度磁気センサーを使用した、「困り事の解決」=ソリューション提案

6. 娯楽機器事業の現状と見通し①

【業界を取り巻く環境】

- ・パチンコ/パチスロの合計設置台数は前年よりダウン。
- ・パチスロの設置シェアが増加傾向。パチンコの1/2超に。
- ・新規店舗の大型化傾向が定着。小型店淘汰により店舗数は減少。



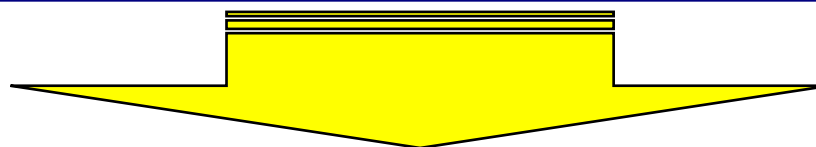
◆遊技機器メーカーの対応

- ・ブランド力のあるタイトル機の開発および強化。
- ・機材の原価低減に向けた取組みを強化。
- ・リユース、リサイクルの更なる加速。

6. 娯楽機器事業の現状と見通し②

【今期のポイント】

- ・パチンコ、パチスロ共に11月に実施される規則改正施行の影響を受ける可能性が大。
- ・業界の立ち直りは時間を要し、リユース、リサイクル率は更に増加。



◆当社の方針

娯楽機器業界に精通した商社として、お客様の利便性アップに貢献してまいります。

- ・業界標準部品としてお使いいただける商品の企画・開発・販売
- ・リールユニット、ROMモジュールなどの新商材を紹介
- ・リユースのビジネスモデルを構築

7. 新規ビジネスについて①



「AIプレート」と「フィンガージェスチャー」の融合により、空中に映像を結像させ、センシング技術を用いて、空中操作ディスプレイを実現。

特許出願中(特願2015-188324)

A Iプレート、フィンガージェスチャー、ボードP C、コンテンツ作成・配信などを新規ビジネスとして、当社および子会社のノバラックスジャパン（株）で企画・提案を開始。

7. 新規ビジネスについて②

CEATEC 2015に空中操作ディスプレイを出展

触らないのに操作できる

未来型インターフェース

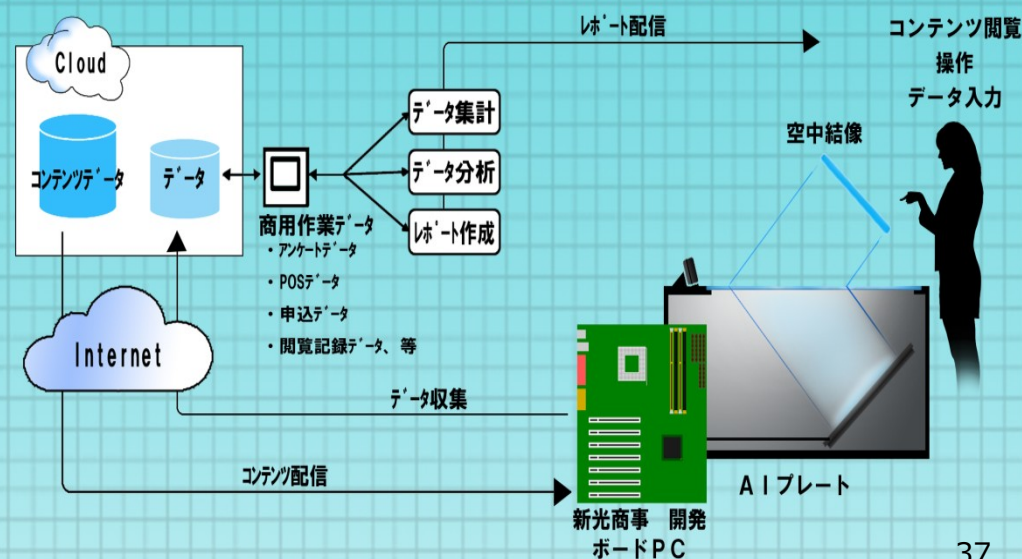
AIプレート & フィンガージェスチャー

レシピを見ながら、自由にページをめくり、楽しいお料理を！

新しい形の「AIスマートキッチン」

- ・当社初の出展
- ・4日間で当社ブースに759名が来場
- ・7"、15"インチのデモ機で、業界や地域を問わずPRを開始

ボードPCによるコンテンツ配信、データ活用





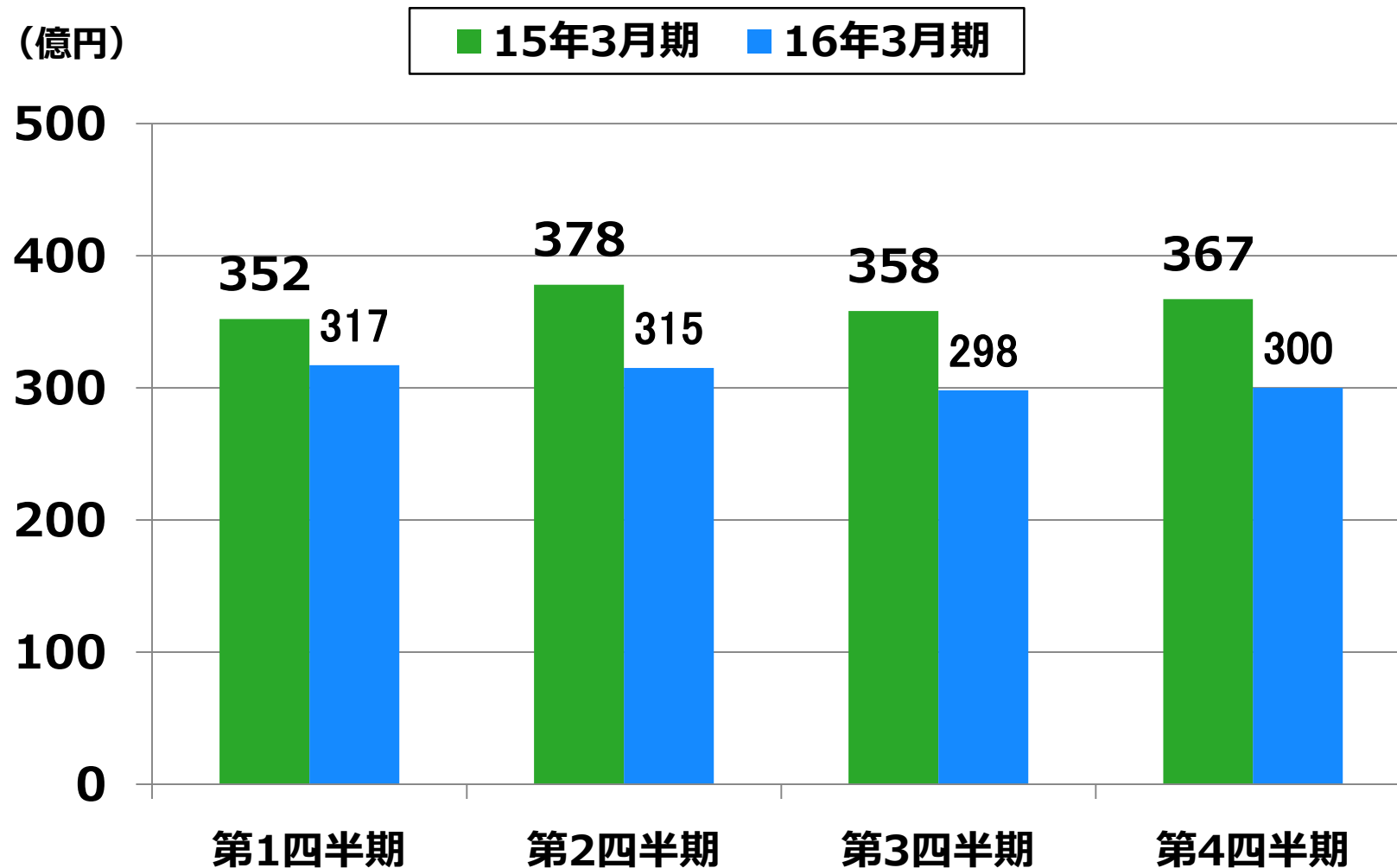
2016年3月期の見通し

通期業績見通し

(百万円)

	2015年3月期 通期実績	2016年3月期 第2四半期 実績	2016年3月 下期見通し	2016年3月期 通期見通し
売上高	145,704	63,158	59,842	123,000
営業利益	4,272	1,207	1,193	2,400
経常利益	4,155	1,195	1,205	2,400
当期純利益	2,474	772	678	1,450

通期業績見通し（四半期別売上高）



＜自社株買いの実施＞

取得枠の設定（10/30開示）

総数の上限	1, 1 0 0千株
金額上限	17億円
期間	2015/11/2～2016/01/29

株主還元の充実

配当確定（中間20円）	480百万円
配当予定額（期末20円）	480百万円
想定自社株買上限	1,343百万円
（発表翌日終値）	1,221円
合計	2,303百万円
還元率（予想当期利益1,450M）	158.8%

<その他の財務戦略>

- 1) 固定資産の見直し検討
- 2) 配当政策の機動的な実施

※当社は経営基盤強化の為に、全てのステークホルダーへの配慮を実施すると共に、株主への利益還元を重視し、中長期的に安定した配当政策を堅持する。

- 3) 持続的な経費効率化運動

株主還元について

● 1株当たり配当金

	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想
第2四半期	15円00銭	20円00銭 (確定)
期末	25円00銭	20円00銭
年間	40円00銭	40円00銭

● 配当性向50%をお約束いたします。

ご清聴ありがとうございました。

新光商事株式会社

取締役 正木 輝

企画室長 小林 直之

Tel: 03-6361-8062

Fax: 03-5437-8481

E-mail: t-masaki@st.shinko-sj.co.jp

nao-koba@st.shinko-sj.co.jp

住所: 〒141-8540

東京都品川区大崎 1-2-2

アートビレッジ大崎セントラルタワー13階

HP: <http://www.shinko-sj.co.jp>